第42回潮見が丘小学校運動会

1日延期となった潮見が丘小学校の運動会。その甲斐あって、絶好の運動会日和となりました。平日開催にもかかわらず、たくさんの保護者のみなさん、地域のみなさんが応援にかけつけてくださりました。今回の「しおさい」も、運動会練習や本番の中で見られた、先生方や子どもたちの「喜怒哀楽」をこっそり…お伝えします！

■いよいよ徒競走。「先生トイレ行きたい」「先生、私も」「先生…」何と出発直前に…。お漏らしは困るので「急いでね」と仕方なく送り出す担任。トイレに向かって走り出す子どもたちを見てびっくり！は・や・い！

■玉入れ。制限時間は三十秒。終了の笛が鳴っても、あきらめない？一年生。でも、時間オーバー後に入った玉が減らされる。ドッキドキのDOKI（土岐）先生。

■仲間を一生懸命応援していた子どもたち。応援に夢中になりすぎて、自分の番がきていることに気づかない人もいましたが…。

■**担任A**／あまり勝つことができなかった「でかぱんリレー」。本番で勝った瞬間が印象に残っています。

■**担任B**／どれも負けてしまって…。私が一番悔しくて悔しくて！（子どもたちは気持ちを切り替え、頑張っていて立派でしたよ）

■ハリケーン練習。全員が「心ひとつに…」とは、なかなかうまくいきません。でも、本番では後ろにいる子どもたちが必死になって仲間を応援している姿に感動！

■本番直前。一人ひとりからクラスのみんなにメッセージ。「自分は走るのが遅くてごめんね。でも、精一杯がんばるから…」。これも感動！

■（支援員の先生に）**子どもたち**「どっちのクラスの味方なの？」

支援員「運動会もこれからも、一人ひとり、全員の味方で～す」

運動会スローガン　大きな心で全力で輝け！

4年生

Q三年生に教える立場となったエイサーで苦労したことはありませんか…

（担任談）子どもたちは踊ることができるけど、いざ教えるとなると、どう伝えればよいのか…初めは悩む場面がありました。その後は一緒に踊ってみたり、ポイントをしぼって教えたり、それぞれのグループで工夫をこらして、教え合いができるようになりました。三年生が踊れるようになった時、その踊りを見ながら「気をつけ　前　上　倒す…」と、応援するように声をかけていたのが印象的でした。

5年生

■練習期間にあったたくさんのドロドロ感。「バトンを落とせ」と言われる。勝ったクラスに嫌味っぽく笑われる。負けたらバカにする。スポーツマンシップとは到底呼べないようなドロドロ感。総練習後、学年集会で大切にしなければならないことを確かめあい、本番にのぞみました。でも、こんなドロドロ感も、子どもたちの確かな成長には必要なのだとも思う担任でした。

嫌味を言う暇があったら自分たちの競技に集中しなさい！（笑）これは担任のボヤキ…

6年生

喜リレー、目標タイム達成！／仲間を認め合う姿がたくさん見られました。

怒クラスの子たちは担任の怖さを何より知っているので、怒られるようなことはありませんでした。（笑）

哀なかなか勝てずに意気消沈していた子どもたち。自分たちの記録を超えることを目標に気合いの入れ直し／ジャージの上から六年生Tシャツを着ていたら「先生、パンパンだね」と言われてしまった。

楽集合写真で調子にのっちゃった！